

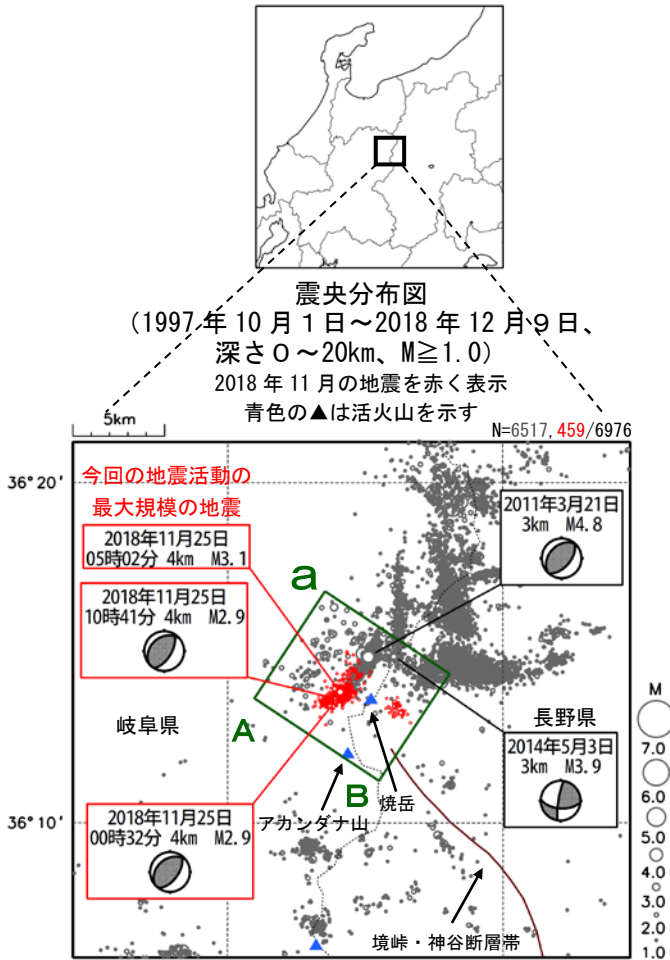
# 11月23日からの岐阜県飛騨地方(岐阜・長野県境付近)の地震活動

情報発表に用いた震央地名は〔長野県中部〕もしくは〔岐阜県飛騨地方〕である。

2018年11月23日から岐阜県飛騨地方(岐阜・長野県境付近)で地震活動が活発になり、12月9日までに震度1以上を観測する地震が51回発生した(最大震度2:6回、最大震度1:45回)。このうち最大規模の地震は、11月25日05時02分に深さ4kmで発生したM3.1の地震(最大震度2)である。今回の地震の活動域の付近には焼岳があり、11月23日から焼岳の西側で活動が始まり、12月4日からは焼岳の東側でも活動が活発になった。いずれの地震も地殻内で発生した。

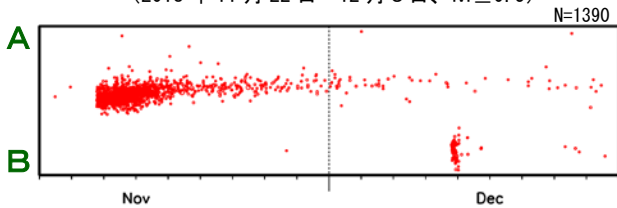
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)は、M3程度の地震が時々発生しており、東北地方太平洋沖地震発生後と2014年5月3日に、一時的に活動が活発になった。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域b)では、M5程度の地震が時々発生しているものの、M6.0以上の地震は発生していない。

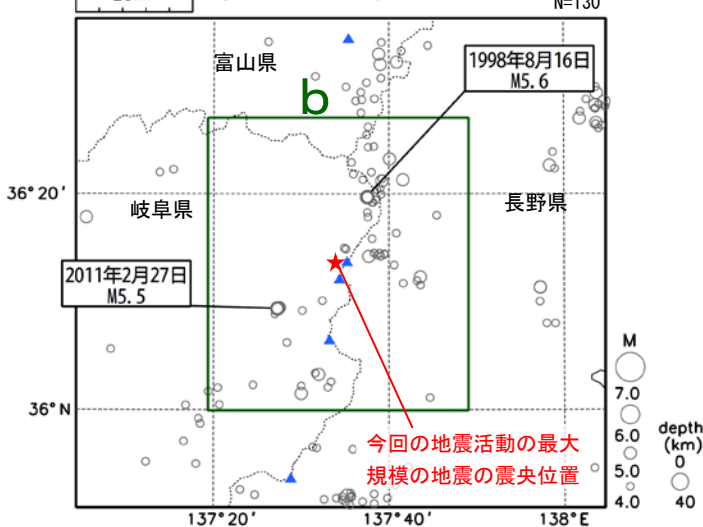


震央分布図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

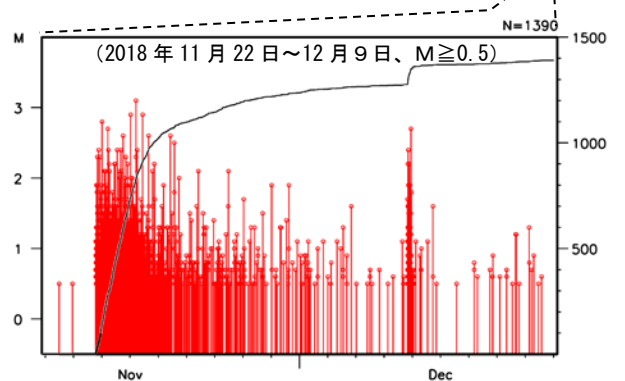
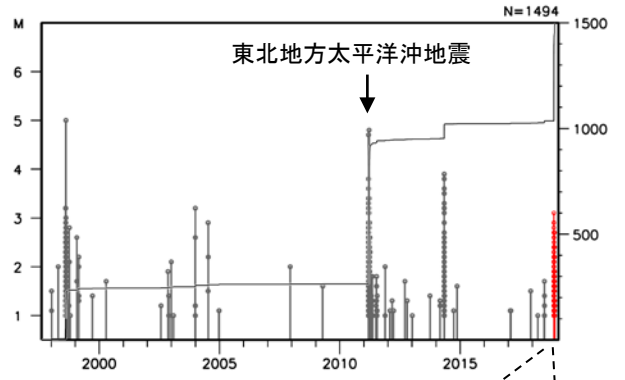
領域a内の時空間分布図(A-B投影)  
(2018年11月22日～12月9日、M≥0.5)



震央分布図  
(1923年1月1日～2018年12月9日、深さ0～40km、M≥4.0)



領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

